

草苑保育専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

日 時：2020年3月4日(水)15:00～16:30

場 所：草苑保育専門学校 大会議室

出席者：保護者からの委員

業界関係者からの委員

地元法人・業界関係者からの委員

地域住民からの委員

栢原 英郎 自己評価作成責任者／草苑学園理事／草苑保育専門学校学校長

太田 満喜 草苑学園理事・草苑学園学園長

柳内 えり 草苑学園理事・総合企画室長／草苑保育専門学校 実習・就職センター長

欠席者：学校運営有識者からの委員

議 事

【学校からの報告と資料説明】

1. 2019年度 自己評価報告書について

本校は、2019年度で65周年を迎えた。2019年度の「自己評価報告書」は、2018年度の自己評価に加えて「60周年からの5年間の総括と2018年の評価」と題し、5年間の取組とその成果を第1編にまとめた。

第2編は「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って評価を行った。

1-1. 第1編 この5年間の取り組みとその成果

1-1-1. 「キリスト教の精神を教育の理念とする」ことの具体化

(1)草苑保育専門学校の成り立ちをふりかえり、60周年を機会に、「コリントの信徒への手紙」13章13節から取った「信仰・希望・愛/祈り」をスクールモットーに定めた。

(2)日々の礼拝を支えるため、5人の牧師の先生に来ていただいている。週5回の礼拝が大きな流れになるように「牧師会」をスタートさせたのがうまくいっている。時期に合わせて学生に話すことを考えてくださるのが大きい。

1-1-2. ファカルティ・ディベロップメントの取り組み

「よい教育内容」を実現するための取り組みとして、5年前から学生による授業アンケートを取り始めた。そのほか、先生方の学会等での発表や、外部での研修、本校研究紀要への論文寄稿などを進めている。

1-1-3. 職業実践専門課程の指定

指定を受けるべく、要件である学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会をスタートさせ、無事指定を受けることが出来た。

1-1-4. 新講義「保育総合教養」の新設と成果

教育課程編成委員会で、今の学生には一般常識が欠けているという指摘があり、科目「保育総合教養」を新設した。ディプロマ・ポリシーを踏まえて講義を展開し、保育者としての資質を高めるためのもの。専門性、社会性、人間性を身につけることを目的としている。

1-1-5. 公務員試験対策講座の歩みと実績

男子学生支援の一環として用意したが、女子学生の受講者が多い。2年連続で卒業生の1割程度となる0名以上が合格している。

1-2. 第2編 2018年度の自己評価

2018年度は、教員養成機関再指定や保育士養成課程の見直しに合わせ、指導校である青山学院大学の指導のもと、教育課程を再構築した。

1-2-1. 教育方針の明文化への取り組み

2018年度に「アドミッション・ポリシー」を定め、さらに「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」の作成を進めた。2019年度には、それに基づくカリキュラム編成、成績評価方式の確定を予定している。

1-2-2. 学修成果

就職指導はゼミ制を取り、担当教員と少人数で話し合うことで、就職後の社会人としての自己イメージを明確にし、それぞれが就職活動に臨めるようにしている。また、2019年度から「就職支援センター」を設け、情報を一括して管理できる形にした。

1-2-3. 学生の募集と受け入れ

調子のいい年と悪い年が交互にくる。ホームページのリニューアルを行った。

1-2-4. 財務

経営は苦しいが、2017年度以外、事業活動収支はわずかであるが黒字が続いている。総負債比率が2018年度末で82.6%と極めて高いが、校舎等の敷地が借地だったので買い上げたほか、幼稚園の園庭に隣接する土地の買い上げなど、学校の安定のための負債で健全なものとかんがえている。

2. 配布資料について

2-1. 教育課程

教員養成機関再指定や保育士養成課程の見直しに合わせ、2019年度から教育課程を一新した。科目の読み替えがしづらく、科目数が増えることとなった。

旧課程は2020年9月に卒業する10月生で終わるはずだが、現2年生で残留する者が18人おり、残った科目については継続してやらなければならない。

2-2. 保育総合教養

新教育課程にあたる現1年生からは必修科目化した。保育者としての必要な資質を高めることができるものを目指している。

2-3. 2020年度の学事日程

半期で15回の授業を行うのは、2年間で5回の実習に行かねばならない保育の専門学校には過密なスケジュールとなる。そのため、2020年度はオリンピック期間に授業を行わない大学等も多いが、本校は通常通り授業を行うことにした。学校として求められていることは、しっかりとした技術、知識、人間性を兼ね備えた保育者として学生を送り出すこと。過酷なスケジュールの中でも頑張れる学生を育てたい。

2-4. 2020年度の入学予定者数

前年度と比べると学生数が増える。

3. 討議

委員：学生から、就職活動や実習園への日誌提出などで出席数が足りなくなるという声が聞こえてくる。

また、近隣の方から、2018年度の草遊祭は、周辺の幼稚園の運動会と日程が被ってしまい、来られなかったという話があった。

学校：11月は行事が重なりがちで、たまたま重なってしまう年もある。2018年度は草遊祭の時期を早めたが、実習から帰ってきてからの準備期間が足りないので、2019年度から時期を以前に戻した。

学生の出欠席については、15回の授業すべてを受けることが重要だと伝えている。なぜ2年間で国家資格を取れるのかといえば、しっかりと15回の授業を受けてこそそのもの。学生と近い立場から、注意していただくとありがたい。

学校：夜のアルバイトのせいで朝起きられない学生も多い。アルバイトも保育系でできればと思う。

委員：ピアノに対する不安を持っている学生が多い。もっと長い時間練習したいという声もある。

学校：意識が高い子には練習させてあげたいが、学校は安全性を考慮して、職員が揃ってから開けている。ピアノの数は揃っているので、好みの教室やピアノなどを選ばなければ、練習できる環境は用意している。

委員：途中で辞める学生もいることに驚いている。

学校：意欲はあるが能力の足りない学生をどう引っ張り上げるかが専門学校の使命。

学校：勉強の仕方からわかっていな新生も多い。4月から1ヵ月ほど、勉強の仕方を教える必要もあるのではないかと考えている。

委員：卒業式や入学式の、新型コロナウイルスへの対応についてお聞きしたい。

学校：卒業式は時間短縮、規模縮小して行う。入学式や履修指導等については、3/15以降に再判断する予定。

栢原：従来の、学生一人ひとりを壇上に呼んで卒業証書を渡す形ではなく、各クラス代表に証書を渡す形を取る。来賓は遠慮していただくことにしている。

委員：保育園では、基本的には対策はマスクしかなく、消毒・手洗いをしながら保育を行っている。子どもたちは、さまざまなかわいいマスクがあるので、大喜びしている面もある。

学校：草苑幼稚園は休園として。近隣の幼稚園でも、対応はバラバラ。

学校：卒業生に感染者が出て、就職先でマイナスになるのが一番避けなくてはならないこと。マスクや手洗い、消毒などは必ずして、慎重に対応したい。

4. 閉会